

Q 2 : 部活動への参加は可能ですか。

- A. 興味・関心のある分野を拡大したり、友だちとの交流を図ったりできるので、部活動はお子さんの発達にとって大切な活動です。学校生活管理指導表の運動強度区分を目安に、部活動の種類や参加の仕方を考えていくとよいでしょう。運動部、持久力が必要で低い気圧の場所に行く登山部、吹奏楽部での体力を使って吹く楽器などは、とくによく検討する必要があります。また、現在は苦しくなくできたとしても、大人になってからその影響が心臓のはたらきにでてくることもあります。したがって、お子さんの希望を大切にしながら、ご家族、部活動の担当教諭、担任教諭、医療スタッフで相談してください。

Q 3 : 心臓の病気のお子さんはみんな、突然死の危険性が高いのですか。

- A. けっして、「心臓の病気＝突然死の危険」ではありません。突然死の危険がある心臓の病気とそうではないものがあります。突然死を避けるためにも、心配するあまりにお子さんへの制限が過剰になりすぎないためにも、突然死の危険が高いのかどうかをわかった上で、対応していただくことが重要です。以下の状態が、突然死の危険が高いと言われています。

- 手術をしていない先天性心疾患
- 手術を受けている先天性心疾患のうち
  - 心臓のはたらきが低下している、肺高血圧が残っている、
  - 危険な不整脈を伴っている、冠動脈に障害がある
- 不整脈のうち
  - QT延長症候群、心室頻拍、心室細動、完全房室ブロック
- 川崎病後遺症（冠動脈瘤）
- 心筋症・心筋炎

このような場合には、ご両親と緊急時の対応について、とくによく相談しておきましょう。